

P 4

(1)

早く、援護を！

2月25日発行 1972年 第1号
 韓国の原爆被害者を救援する市民の会 機関紙
 事務局
 〒565 吹田市桃山台3丁目36番5号
 TEL 068 (71) 3446
 振替口座 大阪 28307番

会長のあいさつ

本吉義宏

「韓国原爆被害者救 援」の言葉に「韓国に ていくなかに原爆を語り日本と朝鮮半島との も原爆が落されたので二千年の歴史を語り合い、人種と宗教とイデ すか？」といふかしげ オロギーの違いが、そして国境がもたらす相

に問う人、「日本人の 互の無理解や独善によってひき起された戦争 原爆被害者さえ充分な の罪悪をその悲惨な爪跡を話し会う時、私達 援護措置がとられて居 の運動が韓国原爆被害者を救援する原点にお ないのに何故韓国人を いて既に地上に真の平和を希求する人類の大 ？」 「東パキスタン 願望としつかりとつながれて居る事をあらた にもベトナムにも今何 めて深く認識せざるを得ません。

百何千万の戦火に追わ 日本、アメリカ、韓国の政治の谷間にとり れた悲惨な人達が救援 残されて二十数年間の長い間、原爆後遺症の を待つて居るのに貴方 苦痛にうめきながら、働らけぬ身体で家族を抱 は何故韓国原爆被害者 貧困の中に医療も糧も与えられず更に隣人 を？」

私達のこの運動に対 行つた多くの韓国人被爆者達、又今も苦しみ してこの様な答えるに ながら暗闇の中に生きている人達の存在を知 ももどかしさを感じる 時、私達は各々一個の人間として「何をな 多くの問いかけがなさ すべきか？」を自からに問い、その答として れます。 此の救援活動を展開する行動を起しました。

そしてその行動は、此の悲惨な現実を歴史に 沿って徹底的に掘り起してその起点までさぐ り、あえてイデオロギーと云わず哲学或いは 宗教を問わず戦争の愚かさを知り、人の生命 の尊厳を知り、人を愛することの美しさを知 る。又かえって私達人間総てが求める平和 への道を明らかに逆行する、矛盾した現実 は 赦す事なく曝き、団結してその歯止めとなる

―その決意によって裏打ちされねばならな い事を度重なつた討論の場で確認しました。 私達微力な者が集まり市民の運動として、 無関心な人の心に関心を持っていただき、傍 観する人を行動の輪の中に加わっていただく ためには多大のエネルギーの絶える事ない注 入が必要です。

さいわい現在までにクリスチャン、仏教関係 天理教の諸団体の方々、それに教職にある人 看護婦、警官、主婦、学生と非常に広範囲の 方々が入会され、又積極的協力をそして激励 を寄越して下さり世話人一同心より感謝して おります。此の市民の会の運動が一步一步よ り大きな輪に展開されて、まづ私達と韓国の 被爆者とを楯ぶ架け橋をつくり、そこから他 の国々の被爆者にも心の手をさしのべてゆき たいと思います。

世話人会の討議より

何が問題となりどの様に進んだのか

編集部

韓国に原爆被害者が、誰からも見捨てられ運動参加者の間で問題の理解に関する不一生きている。彼らに何の罪があるのだから。致は九月集会において明らかになった。私達か。驚きと疑問と矛盾に対する正義感、私自身の立場をあいまいにして運動の進行が望達を行動にかりたてるに充分だろう。しかし、むべくもない状況がそこにはあった。被爆以私達が行動を起すまでに余りにも長い歳月が前の朝鮮人と侵略側の日本人との立場の違い、無為の中に過ぎたのではなかるうか？此の事現在日本資本主義が海外に進出し、とりわけ実は既にマスコミ等で知らされながら、昨年アシアー韓国では侵略として警戒されている八月、韓国原爆被害者援護協会々長辛泳洙氏事実、出入国管理令（法案として国会に上程の来日によってしか出発しなかったのは、責されようとしている）によって在日朝鮮人を任回避の表われではなかったか。

ここでは、八月集会からの世話人会の討論経過と確認事項を記録したい。

過去、多くの人達が為しえなかった任務を背負って私達は出発した。つまり、韓国の被爆者のたどってきた歴史と現実にかんがみ、私達自身の立場を点検することを出発点として、韓国の被爆者が団結し、要求しようとすることを支援すると共に、被爆者を無視している日本政府等に対する責任追及の運動を始めようとして確認した。これらは、そのうちのどれも欠かせないものである。しかしながら、

八・九月集会の参加者の中から積極的に運

韓国原爆市民の会 集会のお知らせ

この会が発足してからはじめての、会員全員を対象とする全体会議を左記によって開きます。ふるってご参加下さい。

記

◎四月八日（土）午後六時 大阪市立労働会館（森の官駅西へ五分）

動を進めてゆこうとする者達が集まって世話人会を構成し、一〇・一一・一二月中に一〇数回の世話人会を開き、運動を進めてゆくに当たっての問題点を討論した。決してスムーズに進んだ訳ではない。討論の最中に感情を高ぶらせたこともあったし、頭を抱えながらも目に見えない程度だが前進を続けた。その間には、韓国の援護協会から財政上の悩みと被爆者の苦しい実情と、私達への期待の言葉が幾度となく寄せられてきた。

分断された朝鮮で見捨てられた被爆者に、私達はどの様な立場で支援してゆけるのか。被爆者が私達の救援活動をそのまま受け入れて呉れても、旧日本帝国主義の朝鮮統治、とりわけ被爆以後、朝鮮人の治療を拒み、見殺しにしてきた事実の中で、今広島の被爆者二世が訴える「被爆した私達も在日朝鮮人に対

しては加害者であったのでは」という叫びは生々しく私達に突きささってくる。何も知らなかったことで免罪符にはならない。何も知らずとしかかったこと、知らされなかったことがここでは問題となる。無知と無関心に対する自他への告発が始められなければならない。免罪の為の募金運動では何の解決にもならない。むしろ問題の本質をゆがめ、単なる同情のみではかえって被爆者差別を助長することも討論が進んでゆくに従って確認されてきた。

韓国の被爆者を救援する運動は、その責任と後仕末の代理を努めるのでなく、多くの朝鮮人を大日本帝国臣民として強制的に連行し、一九四五年八月に広島・長崎で被爆させ、その後も責任から逃れ、一九六五年日韓条約によって戦後処理は終ったと宣言し、被爆者の入国・治療・補償要求を黙殺して、死の宣告を彼等に与えたにもひとしい日本政府と当事者への責任追及を行なうことである。それは韓国の被爆者自身が未だ立上りがれない現実の壁があるため、私達がその代理をするのではなく、その叫びと行動を為しうる条件をつくり出すことにある。市民運動は多様な発想と方法で、それを実現しようとする運動であり、その第一歩として募金運動を始めた。近くて遠い国——韓国の被爆者と私達の間には、

目に見えない壁があり、結びつけるものは小さな運動の種にすぎない。しかし一粒の種も私達が気を配って育ててゆくことにより、大木になり、韓国の被爆者と私達を強く結びつけるものとなるだろう。その成果の上に、同じく日本の植民地主義の犠牲者で未だ実情もわかっていない朝鮮民主主義人民共和国・沖縄・中国・ベトナムなどにいる被爆者の救援運動をしてゆくことも確認した。その意味をもこめて、この会の名称である「韓国の原爆被害者を救援する市民の会」は仮称であり、将来全ての外国人被爆者の救援の意味を含めた名称をつけることが確認されている。此の運動は「市民の会」に集まっているだけに進められるものではないと思います。私達の身辺にある矛盾を直視し解決する意志と行動と結びついて運動の前進があるのではないかと思えます。つまり、私達の人生観なり生き方の問題だと思えます。職場で、工場、学園で、家庭で韓国の被爆者救援を考えよう、討論しよう、運動を始めよう。



資料

(その1)

△はじめにV
私たちが日本人の一人として、いまかわりを持ち始めた「韓国被爆者」の問題とは、一体何でしょう。

私たちは「そこに気の毒な人がいるから助けなければ」とか「日本が過去に、この人たちに悪いことをして、その犠牲になったのだから償わなければ」という気持で救援の行動を起そうとしているのでしょうか。

それだけなら、赤い羽根共同募金と変りないように思われます。共同募金の趣旨は「助け合い」ですが、その背景には「国ができないことを国民の一人一人に穴埋めさせる」という、犠牲の押しつけがあります。福祉の至らなさを国民に肩代りしてもらっている、といえます。定められた税金を払い、まじめに選挙権を行使している人なら、そうした犠牲をさらにかぶせられることにがまんでできませんか。

私たちは韓国被爆者の問題を「償い」とか「謝罪」の気持で考えてはいけなと思います。日本が過去に朝鮮に対して行なってきたこと——民族のことは奪い、姓名を奪い、土地を没収した——を思い起しましょう。そして、韓国と朝鮮民主主義人民共和国に住む

たくさんの人たちと在日韓国、朝鮮人は、そんなでいる政治の病根まで目を向け、あるべきの傷跡にまだに苦しんではいはしないか。その重たい胸の底を私たち日本人が思うなら、「償い」や「謝罪」で問題は到底解決しないことを自覚すべきです。

私たちは韓国被爆者問題が示してくれるさまざまなことを、自分の生き方の中でとらえ直し、そこから出発すべきでないでしょうか。これからは韓国被爆者が生れたのか。戦後二十七年目を迎えたいまも被爆者が苦しんでいる理由。それに対し、私たち一人一人は、いままで何を考え、してきたのか。こうして問いかけは、政治や社会、それと個人のつながりについていろいろな事柄を教えてください。国が他の国を侵略するということ、日本と朝鮮の場合、朝鮮人を日本人に同化させようとし、強制連行した日本の植民地政策、その国策を支えた国民一人一人の意識、いまも根深い偏見。

つまり、韓国被爆者の問題とは、私たち一人一人の生き方に絶えず鋭く反省を求めてくる、そうしたひどく重たいものであるはずです。私たちの生き方をまったく変えてしまいかもしれません。その点で、私たちがかかえる公害や医療、教育などの社会矛盾と実は同じ根でつながっているといえます。私たちが組込まれている社会のしくみ、その問題を生

△韓国被爆者の実数 (1) V
ここにあげるのは、韓国原爆被害者援護協会(ソウル特別市)に登録している在韓被爆者の実数と、同協会調べの被爆者の症状です。(表1・2)。未登録者は協会の推定数、症状は、一人の患者で各項目に重複している例

<表2> 登録被爆者の症状

(1969年12月：同協会調べ)

	男	女	計
火傷(軽傷)	173	33	206
打撲傷	65	18	83
心臓病	47	28	75
性不具者	17	20	37
内臓障害	32	20	52
中枢神経	24	14	38
不腿盤不具	19	14	33
重火傷	47	21	68
片脚不具者	19	14	33
白血球障害	25	11	36
鼻出血症	37	13	50
貧血症	34	13	47
ろうあ不具	15	12	27
精神異常者	37	17	54
夜盲症	15	13	28
半身不具者	83	29	112
低能児	22	18	40
病名不明	427	308	735
計	1,138	616	1,754

<表1> 韓国被爆者の実数 (市・道別)

(1971年4月：韓国原爆被害者援護協会調べ)

	世帯数	登録人員	未登録者	計
ソウル特別市	284	718	300	1,018
京畿道	147	396	1,000	1,396
忠清北道	216	484	1,500	1,984
忠清南道	124	397	1,500	1,897
江原道	23	57	500	557
慶尚北道	376	689	2,000	2,689
慶尚南道	409	906	1,400	2,306
陝川郡一円	552	1,570	1,500	3,070
釜山市一円	217	573	200	773
全羅北道	96	283	1,500	1,783
全羅南道	57	175	1,500	1,675
濟州道	6	21	100	121
計	2,507	6,269	13,000	19,269

もありません。「低能児」は被爆二世のケースを指します。それぞれ協会のメンバーである被爆者が苦勞して集めた「証言」であることを、私たちはまず心にとめるべきです。

問題なのは①韓国では原爆そのものに對する理解と関心が薄いため、いまだに協会の存在と登録を申出て仲間と援護を訴えることを知らない被爆者が多数いると推定される。

②症状についても、いわばシロウトの見ただけから分類しただけで、原爆症の認定につながる医学的な裏づけが早く望まれる。③政府、医療機関による実態調査と対策がほとんど行われていない——などです。(つづく)

〔参考文献紹介〕

▽「韓国の原爆被災者を訪ねて」平岡敬(中国新聞社編「広島記録1」||未来社||に収載)

▽「朝鮮人強制連行」朴寿南(学芸書林「ドキュメント日本人8」に収載)

▽「ナガサキの被爆者——部落・朝鮮・中国」西村豊行(新報新書)

▽「ヒロシマの証言」広島平和文化図書刊行会編(日本評論社)

▽「韓国・光と影」岡井輝雄(若樹書房)||編集部に若干部用意してありますので、定価割引きでおわけします。事務局にご連絡下さい。

佐藤総理大臣

への要望書

佐藤総理大臣閣下

韓国親善の為に、ひいては世界恒久平和の為に払われる閣下の熱意に對し、私達は最大の敬意を表するものであります。

韓国には、一万五千名から二万名に達する原爆被害者が現存するものと推定されていますが、その中の六千二百五十八名が私達の協会で登録されています。

いうまでもなく私達韓国原爆被害者は、太平洋戦争当時広島と長崎に投下された原子爆弾による犠牲者であります。

勿論、無差別大量虐殺の武器として初めて使用された原子爆弾は、米国(連合国側)が投下したものであります。私達は日本政府の為に徴用、徴兵、挺身隊等の名目により徴発され、日本の戦争目的に使役された者であります。

強制的に連行されて、その場にいた為犠牲になつた善意の第三者である私達に對しては、戦争当事者であつた日本及び米国政府が当然その損害を補償して下さるべき事柄と考へるものであります。

次に、在韓被爆者達(遺族及び被爆生存者、国被爆者の問題は提起され、原爆に對する理

は、原爆やその患者達の特殊性に對し全く理解のない韓国社会にいて、どこからもかえりみられず、その生活や病症は悲惨を極めているのであります。政治的あるいは国際法の問題はしばらく措くとしても、人道的立場から見ても到底見捨てることのできない重大な問題として、今や国際的関心の的となつているのであります。

戦後は終つたとして、これから世界平和秩序の一翼を担せられんとする貴国日本が、戦前、同じ同胞だ、同じく陛下の赤子だとして呼びかけ、使役さして犠牲になつた韓国被爆者達に對し、荷やつかいになつた今になつては、外国人だからとして無関心のままにすぎ、日本国の法律外の問題であるとして対策を立てることができないといわれる等、昔の同胞、韓国被爆者達に對する態度としてはあまりにも非人情すぎるものとして、私達は

また、韓日親善を国策とする貴国政府は、韓日親善の為に韓国被爆者救援の問題に對して、政府ベースにしても、あるいは民間ベースにしても何らかの対策を講じてしかるべきものではありますまいか。

近年、貴国核禁会議をはじめ、良識ある日本の個人や団体あるいはマスコミによつて韓

本の問題は提起され、原爆に對する理

解のない韓国よりも、かえって日本において世論化されています。私達はこれに対して深甚な謝意を表するのでありますが、一方、日本政府の積極的な援護策を要望するものであります。

最近広島では、当時被爆して今なお生き残っている馬の事が報道され、騒がれているのであります。韓国被爆者達は馬よりも価値のないものでありましようか。

被爆二十六年、忘却された韓国被爆者達にここに、その苦しみとその総意を閣下に訴える光栄を得ました機会に、次の三つの点について特に要望したいと思ひます。

一、在韓被爆者に対する原爆手帳の交付は、事実問題として認定していただきたいと思ひます。

原爆投下当時広島、長崎に居住し、被爆したという蔽護を事実を否定することは、何人といえどもできないことではないでしょう。治療のため日本へ入国しても、特別手帳がないという理由で、そのまま韓国へ帰った例もあります。

二、在韓被爆者一万五千余人は、日夜、原爆症のため病苦と貧困のさ中に不安な日々を送っております。願わくば、韓国内に、日本の善意でもって原爆医療センターを設置されんことを切に望んでおります。

終戦直後日本から韓国へ引揚げた被爆者の中、この二十六年間病床に寝たきりの原爆患者が多数おるばかりか、原爆病については研究の遅れている韓国では、手のほどこしようないまま死の影におびえております。

幸い、今秋、日本医師団が来韓されるようになり、私達在被韓被爆者達は大喜びで地獄で生仏に会うが如き希望に輝いております。

どうか来年も、また再来年も引続いて医師団を派遣して下さい、お願いしてやみません。

三、韓国被爆者の実態調査を急いで下さい。日本人被爆者と韓国人被爆者の関係と立場は、当時の歴史的関係からいって何ら差別されるべきではありません。にもかかわらず、韓国人被爆者五万余人に關する政府側の正式資料は全然見当りません。

人類がはじめて受けた原爆による被害を徹底調査している現在、何故韓国人だけが除外され、その枠外で、韓国人自身の手で行われねばならないか、全く理解に苦しみます。

人道と政治的倫理の名において、在日、在韓を問わず、韓国人被爆者の実態調査を遅まきながらも至急着手されんことをお願いいたします。

いいいたします。

願わくば、特別のご配慮の上、貴国政府の誠意ある対策を期待して止みません。

終りに、閣下のご健康と貴国民のご繁栄を祈り上げます。

一九七一年八月

韓国原爆被害者一同

右代表 辛 泳洙

ソウル特別市中区仁岨洞二街一三五の四 社団法人 韓国原爆被害者援護協会内

(編集部注 この要望書は、四十六年八月六日の広島平和祈念式典に、歴代首相として初めて参列した佐藤首相へ、広島市長を通じて手渡された。文中の「日本医師団が来韓」は政府でなく、民間の派遣によるもの。「韓国人被爆者五万余人」とは、推定される被爆朝鮮人全体の数である)



会員便り

広島 K・T

大阪 T・F

兄弟たちは体の部分が痛いと言っています。小生も市民の会々員になり手助けをしたいと思しますので入会させて下さい。

編集後記

全国から激励の便りが多く寄せられてくるたびに世話人一同、責務の重大さを一層感じる今日この頃。編集部も、心新たに努力を惜しまないつもりです。
機関紙編集の協力者を募集しています。

私の家では、母と弟が被爆し（爆心地より千米位）母はケロイドになっておりますが、現在は二人とも普通人と変らぬ健康を取り戻しています。広島の被爆者よりもっと悲惨な方が韓国に多数おられることを知っています。貴会のような全国的な組織があれば、私もできるだけ協力させて頂きたいと思えます。一

原爆をうけた外国人で犠牲者の一番多いのが韓国ということですが、このこと以外に、私は、私たち日本人が過去において韓国人あるいは朝鮮人に対して行ってきた侵略と差別の罪を忘れず、今私は日本人として何を行ってゆけばよいかという意味づけもしてゆきたいと思っております。

しよに韓国をたずねた九人の仲間や私の周囲の人々にも働きかけたいと思えます。たゞ貴会が政治的色彩のないことを願っています。はっきりとした政治色があると協力する範囲が限定されると思えますので。

東京 Y・M

一人々々の小さな力が大きな動きとなるように願っています。

私は、今東京に下宿しながら大学へ通っております。暮にアルバイトしたときのお金をほんのわずかですがお送りいたします。

大阪 Y・S

大阪 M・A

韓国の被爆者救済運動を展開されたことを感謝いたします。「日本の良心」の運動が成功するよう祈っております。

新聞にて韓国被爆者救済の記事を読み会員になりたく思います。

岡山 M・Y

山の中で看護婦の勉強をしているものです。韓国被爆者のくわしい実情を教えてください。

私にも何かお手伝いすることはないでしょうか。今は会社勤めをいたしておりますが、時間は少しございます。

大阪 K・K

大阪 K・K

小生達一家も広島に居住しております。終戦後、父母兄弟たちは帰国しましたが、現在兄弟たちは釜山に居住しています。最近、

私は以前から韓国の被爆者を救うのは、我々日本人の責任だと感じていた一高校生です。入会書をお送り下さい。



会員便り

広島 K・T

大阪 T・F

編集後記

兄弟たちは体の部分が痛いと言っています。小生も市民の会々員になり手助けをしたいと思しますので入会させて下さい。

私の家では、母と弟が被爆し（爆心地より千米位）母はケロイドになっておりますが、現在は二人とも普通人と交らぬ健康を取り戻しています。広島の被爆者よりもっと悲惨な方が韓国に多数おられることを知っています。貴会のような全国的な組織があれば、私もできるだけ協力させて頂きたいと思えます。一

原爆をうけた外国人で犠牲者の一番多いのが韓国ということですが、このこと以外に、私は、私たち日本人が過去において韓国人あるいは朝鮮人に対して行ってきた侵略と差別の罪を忘れず、今私は日本人として何を行ってゆけばよいかという意味づけもしてゆきたいと思っております。

全国から激励の便りが多く寄せられてくるたびに世話人一同、責務の重大さを一層感じる今日この頃。編集部も、心新たに努力を惜しまないつもりです。機関紙編集の協力者を募集しています。

しよに韓国をたずねた九人の仲間や私の周囲の人々にも働きかけたいと思えます。たゞ貴会が政治的色彩のないことを願っています。はっきりとした政治色があると協力する範囲が限定されると思えますので。

一人々々の小さな力が大きな動きとなるように願っています。

東京 Y・M

大阪 Y・S

大阪 M・A

韓国の被爆者救済運動を展開されたことを感謝いたします。「日本の良心」の運動が成功するよう祈っております。

私には、今東京に下宿しながら大学へ通っております。暮にアルバイトしたときのお金をほんのわずかですがお送りいたします。新聞にて韓国被爆者救済の記事を読み会員になりたく思います。

岡山 M・Y

私にも何かお手伝いすることはないでしょうか。今は会社勤めをいたしておりますが、時間は少しございます。

山の中で看護婦の勉強をしているものです。韓国被爆者のくわしい実情を教えてください。

大阪 K・K

大阪 K・K

小生達一家も広島に居住しております。

私は以前から韓国の被爆者を救うのは、我々日本人の責任だと感じていた一高校生です。

終戦後、父母兄弟たちは帰国しましたが、現在兄弟たちは釜山に居住しています。最近、入会書をお送り下さい。



